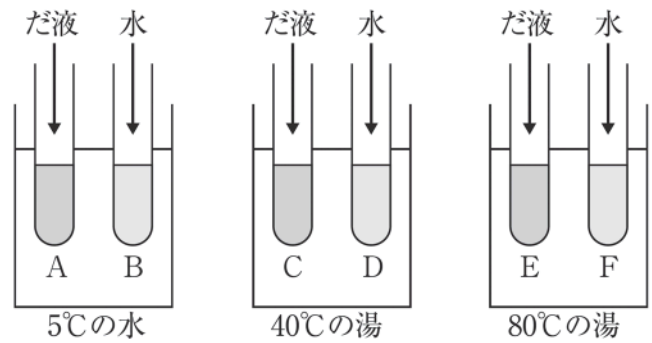


消化と吸収

デンプンの消化 B

 6分

1. 同じ量のデンプンのりを入れた6本の試験管A～Fを用意し、A、C、Eにはだ液を、B、D、Fには水を入れ、図のように、5℃の水、40℃の湯、80℃の湯につけて10分間放置した。それぞれの試験管から少量の液を取り出し、ヨウ素液を加えて変化を観察したところ、Cの液は変化がなく、



(注1) A、C、Eのだ液は同じ量である。
(注2) B、D、Fの水は、A、C、Eのだ液と同じ量である。

C以外の液は青紫色に変化した。また、Cに残った液にベネジクト液を加えて加熱すると赤かっ色の沈殿ができた。次の問いに答えなさい。

(1) B、D、Fのように、A、C、Eの実験結果がだ液のはたらきであることを確かめる実験を何というか。

 [1]

(2) ヨウ素液が青紫色に変化したことから存在が確認できる物質は何か。

 [2]

(3) ベネジクト液を加えて加熱すると赤かっ色の沈殿ができたことから、存在が確認できる物質は何か。

 [3]

(4) この実験結果からわかるだ液のはたらきについて、温度に着目して簡単に書きなさい。

 [4]

(5) 次のうち、だ液中の消化酵素と同じはたらきをもつ消化酵素をつくる器官はどれか。ア～オから1つ選びなさい。

ア 食道 イ 胃 ウ 肝臓 エ 大腸 オ すい臓

 [5]